



R7年 2月

吉川つばさ保育園



- 3日(月) 節分会・なかよし広場
- 4日(火) 乳児身体測定
- 5日(水) 幼児身体測定
- 15日(土) 成長展
- 18日(火) 避難・消火訓練
- 20日(木) お誕生会
- ★10時30分から行います
5分前にお越しください★
- 25日(火) 年長児卒園遠足

※成長展のグループ分けはただいま調整中です。後日お知らせいたします。

※「発表会アンケート」及び「保育園利用についてのアンケート」にご協力いただきありがとうございます。いただいたご意見を参考に、来年度の運営に活かしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

※欠席フォームからお休みの連絡をする際に、熱がある場合は**体温と測った時間**の入力もお願いいたします。

★お願い★

体調不良の際は登園をお控えください。病中または病気の回復期にあるお子様を対象に保育園の集団保育が困難でかつ保護者様のお仕事の事情で家庭保育ができない場合には**病児・病後児保育「めぐみ」**をご利用ください。いざという時にすぐにご利用できるよう事前登録をしていただくことをお勧めします。

また、当園では「病児・病後児保育」を行っていませんので本来、お子様が薬を飲むことはございません。**やむを得ず保育園で飲ませなくてはならない時には、「重要事項説明書・入園(継続)案内」**をご確認いただき対応をお願いいたします。

子どもとの相互作用と作る遊び方や関わり方のコツ！

子育て支援担当より

日々いろいろなことに目を輝かせ、色々な遊び方や発見を楽しんでいる子どもたち。そんな中で大人の関わり方ひとつで子どもの“たのしい！”を増やすことができる遊びスキルを紹介します！

① 行動に効果音をつける

ブロックや人形、電車などの玩具で遊んでいる時や、子どもがジャンプして楽しんでいる時など、その子どもの行動に大人が「どしん！」「びよ～ん！」など楽しい効果音を付けるとより遊びを集中させることができ、コミュニケーションを高めることもできます！望ましくない行動には効果音を付けず、楽しい場で一緒に遊んでいる時はそっと効果音をつけてみてください♪

② 子どもの行動をまねる

子どもの遊びを真似するというのも子どもはとても喜びます！真似ることで自分の事を見てくれていると、より実感でき嬉しい気持ちになりますね。

③ 子どもの感情、大人の感情を言葉にする

大人や子どものポジティブな感情に気付き、代弁してみてください。「うれしいね」「たのしいね」とお話したり、大人の感情も「それはうれしいよ」「たのしいよ」と伝えることで気持ちが満たされますね。この時ネガティブな感情は言葉にせず、ポジティブな感情をみつけて伝えてみてくださいね！

④ 良い影響を言葉にする

子どもが環境に与えた良い影響に気付いて言葉にしてみてください。「いいね」「すごいね」だけでなく、例えば「ブロックをとってくれてありがとう」「かっこいいおうちがつくれてすごいね」など具体的に、どのような良い影響があったのか伝えるとより気持ちが伝わります。良い影響の中身を言葉にして伝えてみてくださいね！

東京大学教授の遠藤利彦先生の講演会でのお話を数回に分けてご紹介します。前回の内容をご覧になりたい方は園だより 11月号をご覧ください！

ご興味のある方、「CEDEP」を検索 ホームページ内に動画や資料があります。

テーマ「アタッチメントと非認知的な心の発達」について

前回からの続きで**安全な避難所・安心な基地になる**ことが大切とありましたが、そこにもポイントがあります。

- ・子どもが何を求めているか（シグナル）を適切に読み取り素早く行動する
- ・子どもが一人でいられることを尊重し踏み込まない（シグナルを発していない時、今一人でいられる、仲間同士でいられる）
- ・「黒子」になって楽しい遊びや安全な生活を下支えする（子どもの為に環境を変えたり動線を考えたり…ただ見守るだけではない）
- ・「応援団」として（離れたところから）子どもの自発的な活動にエールを送る

※子どもが求めてきた時やシグナルを発した時に応えてあげること！

子どもとの関係性の基本

- ★安心の基地／安全な避難所であること
- ★子どもがシグナルを送ってきたら応える
- ★弱って帰ってきたら感情に寄り添った関わりをする
- ★子どもが一人でやっていることに踏み込むことを極力しない（黒子として支える）
- ★感情に寄り添いつつ、離れたところから「応援団」として温かく見守り、時折、声掛けなどでエールを送り子どもの自発的な活動を励ます。

どんなに年齢があがっても避難所／基地はなくしてはいけない。変わらずあり続ける、何かあったら戻れる、守ってもらえるところがあることが大事です。

保育目標

- ひよこ→・食事や衣服の着脱等、身の回りの事を保育者と一緒に行いながらできる喜びを感じる。
 - ・手先や指先を使ってものを扱い楽しむ。
- たんぽぽ→・身の回りのことを自分で言い「できた」という達成感を味わい意欲を育てる。
 - ・周りのものを見て感じたことを言葉で表現する。
- すみれ→・友達や保育者と関わりながら遊ぶ楽しさを味わう。
 - ・新しい環境でのルールを知る。
- さくら→・身の回りで使う言葉の意味を知る。
 - ・友だちと一緒に遊ぶ中で、相手の気持ちに気づいたり、受け止めたりする。
- ひばり→・友達との繋がりを深める中で、自分の思いや考えを表しながら遊びを楽しむ。
 - ・時間を意識し、活動の切り替えや片付けなど、先の見通しをもって行動する。
- つばめ→・就学への期待や不安を受け止められ、自信を持って生活する。
 - ・友達とお互いの良さを認め合いながら、遊びや生活を進める楽しさを味わう。

